

環境科学概論		講義	非常勤講師 新井 健司
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200117

1. 授業のねらい・概要

近年複雑化かつ多様化を強める地球環境問題は、原因や発生メカニズムの解明から対策まで多くの困難を抱えている。

この授業では、さまざまな環境問題の歴史と現状および対策について解説する。深刻な環境破壊の実態と改善の重要性を認識し、地球環境を良好な状態で次世代に伝えるために必要なことを考える機会としたい。

2. 授業の進め方

教室で、板書・画像映写を併用した口頭説明による対面式授業を行う。

3. 授業計画

1. 環境問題, 宇宙のごみ問題	9. 水質汚濁
2. オゾン層の破壊	10. 海洋汚染
3. 地球温暖化の歴史	11. 森林の減少
4. 地球温暖化の影響	12. 砂漠化, 野生生物の減少
5. 地球温暖化と異常気象	13. 日本のエネルギー問題
6. 地球温暖化への対策	14. 原発事故と放射能汚染
7. 大気汚染の歴史	15. 再生可能エネルギー, 地球環境の保全
8. 大気汚染物質	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマについて、書籍・科学雑誌などで予備知識を持っておくと理解しやすい（約1時間）。テレビ・新聞等の環境問題関係の報道にも注意するようにしてもらいたい。授業後はノートを見直して、復習をすること（約1時間）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第5回と第10回の授業時に小テストを実施し、講評を付けた答案を返却する。理解度の確認と学修方法の見直しに役立ててもらおう。

6. 授業における学修の到達目標

環境問題として今のようなことが問題になっているのか、過去の経験を活かしてどのような対策を立てればよいのかなどの課題について、受講生自身が考察できる力を身に付けることを目標にする。

7. 成績評価の方法・基準

試験（70%）、受講態度（30%）をもとに、成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

テキストは指定しない。

9. 受講上の留意事項

授業には毎回出席し、やむを得ず欠席する時は、必ずメールで連絡すること。成績上、欠席理由に配慮する場合もあるが、病欠も含めた総欠席数が多い場合は、単位認定を行わない。なお、試験には十分に準備をして臨んでもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。